

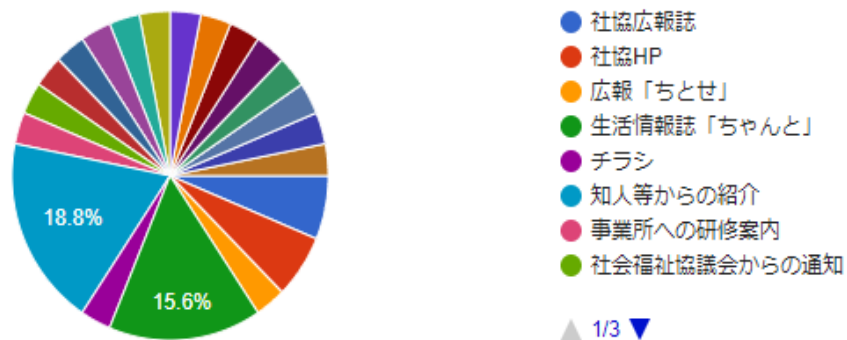
令和3年度専門職対象「成年後見制度勉強会」

アンケート結果


2. 専門職対象「成年後見制度勉強会」を何でお知りになりましたか。

 コピー

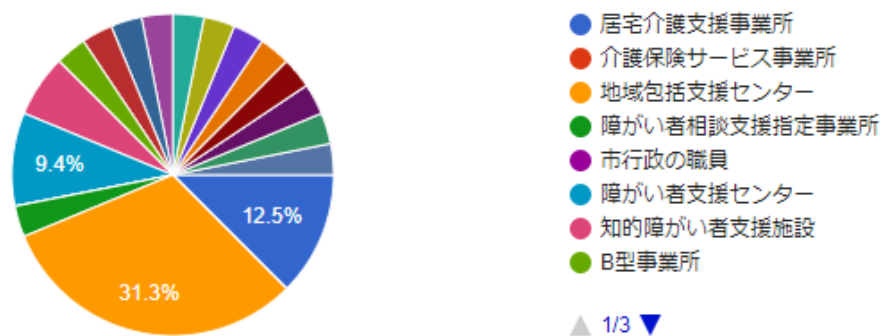
32 件の回答



3. 所属についてご回答ください。

 コピー

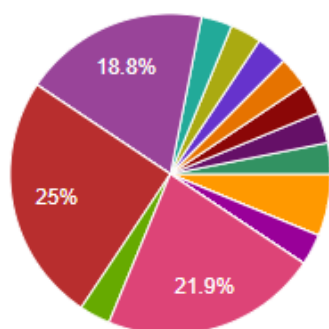
32 件の回答



4. 職種について回答ください。

コピー

32 件の回答



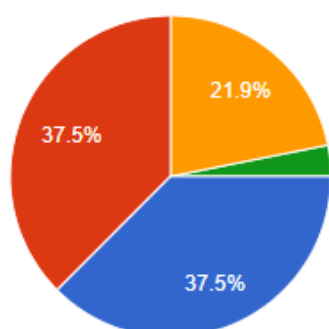
- 医師
- 看護師
- 保健師
- 理学療法士
- 作業療法士
- ケアマネ（医療系）
- ケアマネ（福祉系）
- 介護職（ケアワーカー、ケアスタッフ...）

▲ 1/3 ▼

5. 参加動機についてご回答ください。

コピー

32 件の回答

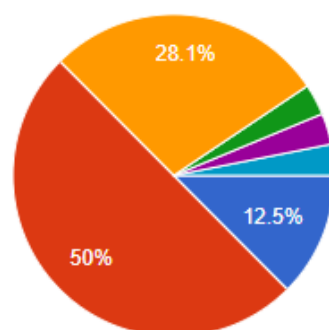


- 自ら進んで
- 職場研修の一環として
- 研修テーマに関心
- グループホーム新設にあたり、後見人制度の知識を知り得るため

6. 研修内容についてご回答ください。

コピー

32 件の回答



- 大変理解できた
- 理解できた
- あまり理解できなかった
- 理解できなかった
- 時間が限られており、最初の説明がスピーディーでついていけない部分がありました。
- 事例検討は非常に難しかったです。

7. 意思決定支援で困ったことはありますか。ご記入ください。

26 件の回答

何人かチームとして判断する時に、そこで決めていいのかと不安はあります。最終的に行政にも確認しますが、その方の人生を決めていくことの重みを感じることです。

認知症を患っていらっしゃる方の入院治療

身内がない方、意思疎通が難しい方の支援

意思疎通が難しいと感じる時がある

利用者支援の中で発言が出来なかったり、裏腹な返答をしたり上手く意思を伝えられない方もいます。そういった方々からの意思を聞き出すスキルや方法の部分です。

思っている事と本人が言っている事が合っていない時どちらがいいのか分からない。

意思疎通が難しい方の支援

認知症のサービス導入の際

本人の意思と家族の意思に相違があること。

本人の入院拒否について、決定の促しに苦慮した。

現在のところはありますが、今後発生すると思われます。

困る事は多いですが、なるようにしかならないと思い、できる支援をしています。

本人の理解力不足と支援者の必要性の理解のすり合わせが一番大変です。

認知症等の障害で言語や表情、ゼスチャーでの意思表示が困難な人の意思決定支援は難しいと感じています。

認知能力低下で現実見当識も著しく低下した方が、自宅がごみ屋敷と認識できず、どうしても一人で自宅で生活すると言っている中、本人の生命を守るために、やむなく施設入所させてしまったこと。

本人を尊重する気持ち・関わりと、対象者を取り巻く周辺（住民含む）の「本当に支援者としてそれでいいのか」という圧力を感じる・・・

沢山あります。利用者に支援していても本当にこれで大丈夫なのか、職員間でも情報共有できているか等。

自閉傾向が強い利用者の意思決定支援については日々苦慮している。

こうあってほしいとの思いが強くなって本人自身の意思決定といえなくなったことがある

対象者の意志を汲み取ることはいつになっても難しいです。最善をつねに意識します。

言語によるコミュニケーションを取りづらい方や、認知症の人、精神障害のある方などの意思の確認が難しいと感じている。

認知機能が低下している高齢者の「私できます。大丈夫です」をどこまで尊重すべきか悩むことがあります。

支援チームの中で意見の相違がある場合のすり合わせに困ることがあります。

8. 今回の研修で印象に残ったことや学べたことはありますか。ご記入ください。

27件の回答

2事例から意思疎通が難しいことや家族や身内との関わり方の難しさを知ることができ、どう関わっていくかを講義とグループワークから学びました。

(不勉強でしたので) 制度には金銭的な負担が大きいと認識していましたが、今回、後見についての申立費用の助成や報酬の助成があることがわかりました。親族とのコミュニケーションについて、様々な角度から働きかけることや見方・方向性を変える事で手がかりができてくる事。グループワークの中で出てきた支援する側の柔軟な発想もとても参考になりました。

ご本人の価値感や環境等の周辺状況の違う中で、時には正解を見出すのが困難な中で決めていかなければいけない苦勞を皆さんもっているということがわかりました。沢山の事例をお聞きしながら ヒントをいただき、学びを深めるには地域や他職種連携は欠かせないと実感しました。その他、後見人の報酬の違い(在宅と施設)

事例検証

事例検討ではどちらも為になりました。

あまり理解できませんでした。うちのグループでも、同意見が上がっていました。専門職といえども、成年後見制度に関わっている専門職ばかりではないと思いますので、今回の内容はとても難しかったです。

本人の意思決定への支援の難しさを感じた。

本人についての幸せが何なのか、考え続けなければならない事と後見人の質は重要だと再認識した。

障害の程度やそれぞれの環境で、支援方法も多種多様であり、大変難しいと感じました。

今回の研修の意図が見えませんでした。

高齢者支援をしているので、事例は難しかったです。

成年後見人の方も悩みながらも、できる支援はされているのが印象的でした。 疎遠になっているご家族も多く、関わってほしくても相手の考えがあるので、できる範囲で細く長く関わってもらえる事が大事ではないかと思いました。

難しい事例だったので、参加者によっては意見も出ないことも多々ありました。お声掛けする集団に合わせた講義内容を検討していただくと、より良い研修になるかと思います。

後見人の報酬について

意思表示が困難な人の意思決定支援において家族の意見をそのままその本人の意向と捉えることにまず危機感を持ちたいと思いました。その人に関わるケアスタッフなど多方面からの情報も大事に関わっていきたいと思います。

他の事業所の方、特に障がい分野の方とグループワークができて、大変参考になりました。

障害のケースはあまり関わる機会がなかったので、意見交換できてよかったと思います。また後見人である先生の関わり等、当事者にアプローチする大変さがあるのではないかと感じました。

事例はどれも難しかったです、グループワークを通してもっと知識を増やさねばいけないと思いました。

後見人の報酬についてはとても重要と感じた。

障がい関係のケースに触れる経験がなかったので、このようなケースがあるということを知れて良かったです。

成年後見制度の概要や実際の後見活動の事例について学びました。

事例内容を少なくし、検討の幅を持たせて考えることができた。
コミュニケーションの取り方が参考になりました。

中核機関の必要性や専門職チームの構築が必要だと思った。FPの勉強も兼ねて参考になりました。

制度を必要としている方は多いのだろうと感じました。

普段は障がい者の課題に係ることがないので、勉強になりました

事例2で、何が問題なのかよくわからず、戸惑ってしまいました。

複雑な環境下での生活を余儀なくされている方や、金銭トラブルが考えられるケースなど、解決に知識と経験と実践力を必要とすることを実感できた。

後見制度の利用を開始した後も利用者やその家族の状態は変化していくと感じました。その時に応じて対応することも大切ですし、あらゆる可能性を考えて事前に対策することも必要と感じました。

9. 今後、希望する研修テーマ等がありましたら、ご記入ください。

16 件の回答

今後も事例を聞き学びたいと思います。

第2弾として今回と同じテーマ 権利擁護

対象を高齢者にしたケースの事例検討会を企画していただきたいです。

行動障害（軽度）の対処について

後見人制度自体の基本的なことをテーマとした研修があればよいと思います。

後見人制度について詳しく学べる研修

高齢者の意思決定について（軽度認知障害の方など、判断能力が微妙な方の支援について）

後見制度は周知活動の継続が大事だと思います。もう少し軽い内容で幅広く、障がい、介護事業所へ研修を続けていただければと思います。

今回のような事例検討を望みます。

実際のケースで、住まいやサービス等支援になかなか繋がらない（拒否が強い）方の意思決定支援の在り方
⇒（理想と現実のギャップから支援者としてのジレンマ等意見交換しておらう等）

職員間での情報共有が上手くいっていないので、他事業所ではどのような対策をしているか知りたいです。

実際に、どういう手続きを踏んで、後見に至ったか・・・など、実際の細かいところを知りたい。

市民後見の実際の活動状況などを聞かせていただきたいです

成年後見人に関するテーマはすごく良いと思いました。ただ、今回の研修はある程度基礎知識を持った方ではないと内容を把握するのは難しいと感じたので、事例などの前に基礎研修を開催してもらいたいと思いました。

認知症や統合失調症の方の意思決定支援について

グループワークのメンバーの中には一から成年後見制度を学ぼうと思い研修を受けたという方もいました。高齢者分野で何度か後見制度に関わった私でも難しく感じる場面があり、基礎を学ぶ研修機会があっても良いかと思いました。

10. オンライン（ZOOM）研修の運営について、困った点や良かった点、運営に関してご意見等ありましたら、ご記入ください。

21 件の回答

オンライン研修、慣れていませんが戸惑うことなく参加させて頂きました。グループ討議、普段お会いすることのない方と交流できて楽しかったです。

1人でのズーム参加は初めての為、操作が不慣れで緊張しましたが、大きなご迷惑をおかけすることなく終わられてホッとしています。事務局の皆さん、コロナ対応で大変な中、このような場を作っていただきありがとうございました。今後も学びを深め、現場で生かしていきたいと思いますので、よろしくお願い致します。

フリーズしました

特に問題なかったです。

特にありません。 今後も同様な研修には参加したいと思えます。

グループワークを予定される際は、高齢者支援の関係者、障害者支援の関係者で分けてみるのは、いかがでしょうか？。そして、それぞれが発表してもらおうと、その違いも解ってお互いに参考になるかもしれません。

運営、オンライン研修に関しては問題ありませんでした。後見センターの皆様お疲れ様でした。また機会があれば参加させていただきたいです。

気楽に受けれるし移動時間がとられられないことが良いと思っています

特に困ったことはありませんでした

特にありません。

グループワークで外部の音声が入ってて、話し合いの内容が入らない時があったので、やる際は誰もいない環境で、といった配慮をお願いしたいです。

ネット環境が整っているつもりでも接続が不安定になる事があり、便利な反面トラブルも見られた。

とてもうまくいったと思います。

情報量が多かったため、グループワークについてはより具体的な検討内容を提示して頂いた方が意見が出しやすかったと思いました。
今回はありがとうございました。

インストールできなくて困った時に、丁寧に対応して頂きました。
初めての方々とのグループワークに緊張していましたが、滞りなくできて良かったです。
お世話になりました。ありがとうございました。

積極的に発言するグループに入れて良かったです
オンラインも慣れてきて集合研修と同じくらいディスカッションできるようになったので、今後も積極的にオンライン研修にして欲しいと思います

ZOOMでのグループワーク時に、他のグループの音声が混じってしまい、集中することが難しかった。

zoomで困ったことはありませんでしたが、研修資料がA4の紙一杯に出力され、大きすぎて読みにくいと感じました。半分のサイズでいいと思います。

職場からでも参加させていただけるのが有難い。

集合地に赴かなくても研修を受けられることで負担が少なかったです。出席者の所属先がわかると話のきっかけがつかみやすいのではないかと思います。

ブレイクアウトルームで他の方とグループワークができ有意義でした。事務局の皆様ありがとうございました。